



ピアノ
エヴァ・ゲヴォルギヤン

©Takako Miyachi

指揮
角田 鋼亮

©Makoto Kamiya



特別指揮
山田 貞夫

34th NEW YEAR CLASSIC CONCERT

2026.
1/10 SAT

時間 14:00開場 15:00開演
会場 愛知県芸術劇場コンサートホール

モーツァルト：「フィガロの結婚」序曲
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
ベートーヴェン：交響曲 第7番 第4楽章*
J.シュトラウスII世：皇帝円舞曲
J.シュトラウスII世：常動曲

指揮	角田鋼亮
ゲスト	エヴァ・ゲヴォルギヤン(ピアノ)
特別指揮	山田 貞夫*
管弦楽	セントラル愛知交響楽団

※プログラムは変更になる場合がございます

主催：メ〜テレ

Presented by DAIDO

34th NEW YEAR CLASSIC CONCERT

PROFILE

角田 鋼亮 KOSUKE TSUNODA

東海高校卒業後、東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、札幌響、山響、仙台フィル、群馬響、N響、読響、都響、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、中部フィル、愛知室内オケ、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、大響、兵庫PAC、広響、九響と共演している。

2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拓いている。2024年4月より、セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。



©Makoto Kamiya



©Takako Miyachi

エヴァ・ゲヴォルギャン EVA GEVORGYAN

「細身なのに極めて強靱で、音色も美しく素晴らしかった。これからを大いに期待する」(池辺晋一郎氏)と評されるエヴァ・ゲヴォルギャンは2004年モスクワ生まれ。幼少期から50を超える国際コンクールで優勝入賞を重ねる。2021年ショパン国際コンクールでは最年少ファイナリストとなり、円熟さえ感じられる重厚な表現と鋭い感性、鉄壁のテクニックで会場の聴衆と世界中のリスナーを虜にした。

モスクワ音楽院でナタリア・トゥルルに、クイーン・ソフィア高等音楽院でスタニスラフ・ユデニッチに師事しながらロシア、ヨーロッパ、アメリカ等で年間90以上のコンサートに出演している。2023年以来セントラル愛知交響楽団、読売日本交響楽団、札幌交響楽団、NHK交響楽団との共演、リサイタルに出演。「大注目の逸材による凄まじい完成度のライブ」と言われる初来日公演のライブCDがアルトゥス・キングインターナショナルからリリースされている。

ヤマハWeb「ピアニストラウンジ」エヴァのインタビュー

<https://jp.yamaha.com/sp/pianist-lounge/interview/evagevorgyan/p1/>



セントラル愛知交響楽団 CENTRAL AICHI SYMPHONY ORCHESTRA

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年。2024年4月から音楽監督に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、第九公演等の自主公演の他、バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市長芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

